

序 文

平成 23 年 3 月 11 日、東日本は未曾有の地震と津波に見舞われ、多くの方々が被災されました。現在も復興に向けて懸命の努力が続けられています。被害を受けられた方々に御見舞いを申し上げ、亡くなられた方々の御冥福と被災地の一日も早い復興を祈ります。

平成 22 年度は、「研究所活動計画」の 4 年目となりました。研究成果の向上と、県民の皆様への還元の推進を目指し、所員一同努力を続けております。平成 23 年 2 月から 6 月にかけて、4 回にわたって外部有識者による発達障害研究所機関評価会議を開催し、平成 19～22 年度研究所活動事後評価、平成 23～26 年度研究所活動計画事前評価を行いました。巻末に平成 23～26 年度研究所活動計画（要約）を掲載しました。御意見等いただき今後の研究所の運営や研究活動に活かしたいと願っております。

県民の皆様研究所を知っていただくために、平成 22 年度も、コロニーサイエンス教室（平成 22 年 10 月 3 日「ヒトのからだの不思議」）、公開セミナー 2010（平成 22 年 12 月 22 日「神経発生と脳の組織構築」）、県民講座（平成 23 年 2 月 12 日「心の発達の個性を守り、育み、活かすー循環型地域療育・教育に必要なことー）を開催しました。平成 22 年度の各学部の研究成果、業績は、年報の部門別研究の項に記載しています。関係諸機関、研究者の皆様のご参考にしていただける事を、また御指導、御批判いただける事を願っております。

平成 22 年度は、定年や任期満了などにより 10 名が退職し、6 名の新規採用、転入がありました。また、21 名の共同研究者、1 名の研修者を受けいれました。人事異動と研究交流の項に記載しています。

最後に年報第 39 号の発刊にあたり、研究所員各位、特に記録広報委員各位に感謝します。

平成 23 年 8 月

愛知県心身障害者コロニー
発達障害研究所長
細 川 昌 則